

# 岐大通 2008



絵：ひらっち

『ぎだいでおり』は、FC岐阜のサポーターが小さな話題を集めて試合会場でお配りしています。試合前の時間つぶしにご利用ください。会場に残されるとごみになってしまいますので、お持ち帰りください。会場美化にご協力を。

2008J2 過去3試合の結果 第35節 岐阜0-6C大阪 第36節 仙台1-0岐阜 第37節 甲府4-0岐阜

## 2008J2

■過去3試合の結果■  
第35節 岐阜0-6C大阪

第36節 仙台1-0岐阜

第37節 甲府4-0岐阜

■順位表■第37節終了  
(勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績(岐阜から視て))

1	広島	81p	+52	79	△●●
2	山形	59p	+18	54	○○
◆3	仙台	58p	+16	49	●△●
◆4	湘南	55p	+22	61	●△
5	鳥栖	55p	+4	38	●△
◆6	C大阪	53p	+13	59	●●●
7	甲府	51p	+9	49	△△●
◆8	草津	49p	+1	38	●△●
9	福岡	48p	-13	48	○○●
◆10	水戸	40p	-13	44	○○●
◆11	横浜C	39p	-6	39	●○
12	岐阜	34p	-27	33	—
13	熊本	33p	-27	39	○△
◆14	愛媛	32p	-19	31	●△●
15	徳島	22p	-30	31	○○△

(◆は消化試合が1少ない)

次回HomeGame  
J2 第40節  
モンテディオ山形戦  
10/19 (日) 13:00  
@岐阜メモリアル  
センター長良川競技場

投稿  
募集!!



gidaidohri@hotmail.co.jp

## アビスパ福岡 戦

広島とセレッソ相手の豪快なやられっぷりは、まるで時代劇の殺陣での斬られ役。仙台とはいい試合をしたと思ったら3日後の甲府戦では思い出したような斬られっぷり。左下の成績表を視てほしい。この3試合、勝点どころかゴールすらないのだ。第3クールだけ視れば勝点1で得失点差-20の堂々たる最下位。もはや、アウェーで快勝の博多森や激しい肉弾戦になったホーム戦のことを語っても意味はない。サッカーはチームスポーツなのだ。チームとして、戦ってくれ。ゴールを奪ってくれ。その先に、勝利がある。

### today's guest - welcome to GIFU - アビスパ福岡

1982年、静岡県藤枝市で「中央防犯サッカー部」として創設。JSL 1部も経験する。福岡市に移転、福岡ブルックスを経てJ加盟時より「アビスパ福岡」となる。トップリーグを通算7シーズン経験。ホームスタジアムはレベルファイブスタジアム。

■岐阜×福岡：過去の公式戦＝1勝0分1敗  
最近の対戦：J2第22節 岐阜0-1福岡

### ◇第35節・ホームC大阪戦

●一言で言えば惨敗。ただどうしようもない圧力をかけられ続けたわけではない。相手の効果的な攻撃シーンがごとごとく失点に結びついたという印象。やはり「J」って甘くない。であればここからが正念場。もう一度初心に帰りチャレンジャーの気持ちを忘れずにぶつかってほしい。(ST57)  
●惨敗の大阪戦。マイボールになった時の動き出しが無い、バックパスなどもってのほか。守備も攻撃も全体の意志疎通が図られていない。戦術も戦略も徹底されていない、リードされるとモチベーションが極端に下がるのが目に見えて判る。汗をかいて走る人が少な過ぎる。空いた所へ球を回せば良いと思っていないか？これではせっかく苦労して集めた観客を再び呼び寄せることはできませんよ！チームの根本的建て直しを求めます。(ミスター珍道)

### ◇第36節・仙台戦

●前2試合大敗していただけに、今回も苦戦は否めない正直思って挑んだ試合であったが・・・正直短期間で、ここまでよく持ち直したと思う。“個”の足りない部分を、“組”で補っていた部分が多かった。ディフェンスは2~3人でプレスに行くことが多かったし、オフェンスもミドルやロングを放つなど積極的な部分もあった。勝負事に『タラレバ』は禁物なのは百も承知だが、だからこそ、「あの」一瞬がなければと、悔やまれる。しかしながら、この内容を継続していくのが今は重要な時。この内容を継続していければ、そうそう大敗れすることはないし、ゴールや勝利といった結果も見えてくると思う。

Home戦も今回を含めてもう残りあと4試合。少しでも多くのサポーターに印象に残る試合を演出してもらいたい。(岐阜の誇り)

●FC岐阜カフェで観戦した仙台戦。試合開始15分前に到着。見るとゴール裏で見かける方が既にスタンバイ。試合開始と共に拍手もおこり、皆さん中継に集中。が、いきなり仙台先制。「嗚呼。」溜め息がカフェを包む。その後は持ち直し前半終了。画面に両チームのシュート数が6対6との表示。チームが持ち直しつつあるとの感想も。後半、観戦している話題は選手交代について。梅田選手がいつ、誰とかわるのか、交替の3枚はどう使うのか。しかし、その1枚を菅選手の負傷退場で使うことに。実はこの試合でのポイントはこれだったように思う。結局惜しいシュートもあったが、0対1で終了。残念なのは失ったのは勝点3よりも、菅選手がしばらく試合に出られない事。これは、この後にボディブローのように効いてくるかもしれない。(緑の小太鼓)

### ◇第37節・甲府戦

●こうなってみると、勝つチャンスがある試合は確実に勝っておきたかったなあ、と過ぎ去った仙台戦のことを悔やんでしまうほど、甲府に対しては勝機どころか決定機すら作ることができなかった。文字通り、ワンサイドなゲーム。何年も一貫して構築してきたシステムを、新加入の選手も含めてシーズンが深まるごとに熟成させてきた甲府の組織力の前に、ボクらのクラブは為す術がなかった。選手は精一杯戦っていると思う。甲府のようになるためには、時間が必要だということもわかっている。だから、せめて、ここ数試合での判で押したような、前半早々のミスからの失点ぐらいは防ごう。日程は厳しいけれど、それは相手の福岡も同じ。奮起を期待してるよ。(ぐん、)

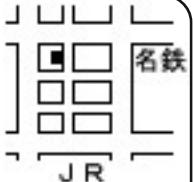
### ◇セカンド・全国を相手の戦いは終わりました

●セカンドとして初めての全国大会挑戦となる天皇杯1回戦、相手は阪南大。関西学生リーグの強豪をホームに迎えて、どんな闘いを見せるかが焦点だったと思います。結果は既報の通り敗れましたが、選手、そしてチームとしてもある程度の手応えがあったのではないのでしょうか。ただ、挑戦はこれで終わったわけではなく、来年からもずっと続いていこう。サポーターとしても、ひたむきに闘うセカンドチームを応援していきたいと思えます。(つる)  
●長良川球技メドウで行われた天皇杯1回戦。大学勢でも上位の相手に正面から挑み、善戦しつつもわずかなミスから失点し敗戦。悔しい気持ちを抑えゴールダウンをこなす選手達。その顔はそれぞれが重かった。後日、相手側から聞いた話を二点。選手達から「櫻田(元関西大学)はやはりうまかった」観戦者から「超アウェーだったが、排他的じゃなく安心して観戦できた」この”安心して観戦できた”というのが岐阜の重要な財産になると思う。先日岐阜放送の報道番組で27日から行われる大分国体に絡み、2ndの特集を組んでいただけた。インタビューを聞く限り、働きながら上を目指そうという気持ちにブレはない。今シーズンの各地区の国体代表はJFLクラスがそろっている。このチャンスを逃すなよ！(ち～な)

「いらっしやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休：日曜日(今日は営業しています)



## ALADDIN

何も無い店だけど・・・  
心の花が咲く・・・  
何も無い店だけど・・・  
心癒される・・・  
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

Living in Woods

本庄工業株式会社

http://www.honjo-woodream.com/